

— 明治時代の宮島がよみがえる —



Eliza R. Scidmore

# 紀行作家シドモア写真展

平成 25 年 11 月 12 日 [火] - 12 月 15 日 [日]

会場 宮島歴史民俗資料館  
開館時間 午前 8 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)  
休館日 毎週月曜日  
入館料 大人 300 円 高校生 170 円 小・中学生 150 円  
主催 県立広島大学宮島学センター、宮島歴史民俗資料館、広島市公文書館  
後援 (一社) 宮島観光協会

◇関連行事 県立広島大学宮島学センター公開講座「エリザ・シドモアと明治の宮島」  
日時 平成 25 年 11 月 27 日 [水] 午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分  
会場 国民宿舎みやじま杜の宿

宮島歴史民俗資料館

廿日市市宮島町 57 (0829)44-2019 宮島桟橋から徒歩 20 分、タクシー約 10 分

## ご あ い さ つ

この企画展は、米国の紀行作家エリザ・R・シドモア（1856～1928）が『センチュリー・マガジン』誌 1896年8月号に寄稿した「不朽の島」“An Island Without Death”の取材の際に、宮島で撮影した写真を展示するものです。シドモアは明治17年（1884）27歳の時に初めて来日して以後何度も日本を訪れ、ワシントンのポトマック河畔の桜の植樹にも関わった親日家としても知られています。



シドモアが宮島を取材したのは、明治27年（1894）のことと考えられます。つまり今回展示している写真は、絵はがきや出版物への掲載を目的として撮影された写真と異なり、明治27年当時の宮島とそこに暮らす人々のありのままの姿を、写真家でもあるシドモアが撮影した貴重な記録であるといえます。

スミソニアン自然史国立博物館国立文化人類学資料館が所蔵しているシドモアの写真は、平成24年に広島市公文書館において展示されたことがあります。県立広島大学宮島学センター・宮島歴史民俗資料館・広島市公文書館の三者は共同して、これらの写真を撮影の場所である宮島において展示することを企画し、準備を進めてまいりました。

シドモアが「祝福された島」、「平穏と詩情があふれ、まるで進歩的な近代の日本から一世紀さかのぼったように感じる」、「死や悲しみがほとんどりはらわれた」＝「不朽の島」と表現した明治時代の宮島の姿が、この企画展で再びよみがえるとすれば望外の喜びとするところです。

平成25年11月12日

県立広島大学宮島学センター

宮島歴史民俗資料館

広島市公文書館

我もかつて、理想郷に在り

*Et ego in Arcadia vixi-*